

## 骨密度検診のお知らせ

—20歳代から急増する子宮頸がんの早期発見のために—

### 婦人科検診

子宮がんは、子宮頸部(入り口)にできるがんと子宮体部(奥の方)にできるがんに大きく分類されます。今回実施する子宮がん検診では、子宮頸がんについて調べます。

内容は問診、内診、視診に加え子宮頸部の細胞を擦り取り顕微鏡で調べる細胞診を行います。細胞診はごく初期の状態のがんを発見することができます。

※月経異常や痛み、出血等の自覚症状がある場合は、直接医療機関を受診することをお勧めします。また、子宮体がん等の早期発見については別の検査が必要となります。

### 骨密度検診

骨粗しょう症は生活習慣病の一つとされています。

骨の量は、20歳代でピークに達し、その後徐々に減り始め、閉経後は急激に減少します。運動不足や食生活、喫煙やアルコールなどの生活習慣が骨量の減少に影響しています。検診を受けて自分の骨密度を把握しましょう。

**会 場** 老人福祉センター

**受付時間** 12:45~13:15

	実施日	対象者	内 容	料 金
婦人科	10月3日(木) 10月8日(火) 10月9日(水)	20歳以上：2年に1回 (目安として偶数年齢)	子宮頸部 細胞診	1,000円
骨密度	10月8日(火) 10月9日(水)	20~70歳：3~5年に1回 (閉経後5年間又は経過観察者は毎年)	かかとの 超音波検査	600円

※4月に申し込みをされている方には、問診票をお送りしております。

※受診希望の方で通知が届いていない方は、**環境保健係まで**お問い合わせください。

※「子宮頸がん検診無料クーポン券」をお持ちの方は、婦人科検診を無料で受けることができます。当日クーポン券をお持ちください。

(無料クーポン券該当者：平成25年4月1日時点で20・25・30・35・40歳の方です。)

お問い合わせ先 環境保健係 TEL 56 - 2311 (内線 223) (有) 2311

### 環境保健係

インフルエンザの  
流行に備えよう!

インフルエンザは、毎年1月上旬から3月を中心に流行しています。



インフルエンザを予防する方法のひとつには、予防接種があります。予防接種が十分な効果を維持する期間は、注射後約2週間後から約5ヶ月とされています。過去の発生状況から考えて、予防接種の有効性を高めるためには、一般に10月から12月中旬までに接種を受けることが適当とされています。

※町が行う65歳以上対象の予防接種は10月1日からの予定です。  
※対象の方には個別に通知があります。

予防接種に加え、日頃からの手洗い・うがいに加えて、十分な栄養・睡眠で抵抗力を高めましょう。咳などの症状がある場合は早めに医療機関に受診し、自宅で休養を取るなど「ひろげない」配慮にも心掛けていきましょう。